

2010年3月期 第2四半期決算説明会

- 商品力の強化で競合店舗との差別化を図る。
- 今期30店舗の開店と山口県への初出店。



株式会社ワークマン

2009年11月9日

ご説明内容

- ・第2四半期決算の概要P3~P10
- ・2010年3月期決算の見通しP11~P13
- ・取組み状況P14~P18
- ・第2四半期決算の詳細P19~P24

第2四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の概要1 第2四半期累計期間 4月～9月



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期			
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間			
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	計画	計画比
チェーン全店売上高	24,213	+3.4	22,309	△7.9	23,407	△4.7
(既存店売上高)	—	+1.3	—	△10.6	△6.3	(△4.3)
営業総収入	17,166	+7.0	15,589	△9.2	16,883	△7.7
営業利益	1,861	△0.1	1,364	△26.7	1,608	△15.1
経常利益	2,316	+1.1	1,785	△22.9	2,038	△12.4
四半期純利益	1,236	+3.4	950	△23.1	1,062	△10.5
1株当たり四半期純利益	60円44銭		46円60銭		52円06銭	

※2010年3月期第2四半期累計期間の計画値は、2009年5月8日発表の業績予想数値を使用しております。

決算の概要2

第2四半期会計期間 7月～9月



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期	
	第2四半期会計期間		第2四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	11,254	+4.8	10,401	△7.6
(既存店売上高)	—	+2.6	—	△10.7
営業総収入	7,960	+7.3	7,322	△8.0
営業利益	741	+1.6	588	△20.6
経常利益	952	+0.8	789	△17.1
四半期純利益	498	+7.4	404	△18.8
1株当たり四半期純利益	24円35銭		19円84銭	

第2四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 13店舗、閉店 7店舗
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 5店舗
- 2009年9月末 634店舗
(2009年3月末比 +6店舗、2008年9月末比 +25店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2009年9月末 507店舗
(2009年3月末比 +6店舗、2008年9月末比 +14店舗)
- FC店舗比率 80.0%
(2009年3月末比0.2ポイント増、2008年9月末比1.0ポイント減)

商品力強化

- 低価格政策(エブリデー・ロー・プライス)商品を新規に162アイテム開発
エブリデー・ロー・プライス商品の売上高 78億47百万円 (前年同期比 Δ 3.2%)
- チェーン全店売上高に占める構成比 35.2%(前年同期比 1.7ポイント増)
- 販売点数構成比 50.5%(前年同期比 2.4ポイント増)

販売状況1 第2四半期累計期間 4月～9月

チェーン全店売上高 223億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店
売上高	△7.9%	△10.6%
客数	△2.6%	△5.6%
1日当たり平均客数	—	91人(△6人)
客単価	2,270円	2,285円
	△5.6%	△5.2%
1品単価	812円	816円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

<前年同期増減率>

チェーン全店 商品別売上	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間
ファミリー衣料	+3.2%	△6.9%
カジュアルウエア	+6.5%	△11.1%
ワーキングウエア	△0.2%	△10.0%
履物	+5.5%	△4.4%
作業用品	+6.1%	△9.6%
その他	△2.1%	+7.4%
合計	+3.4%	△7.9%

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

販売状況2

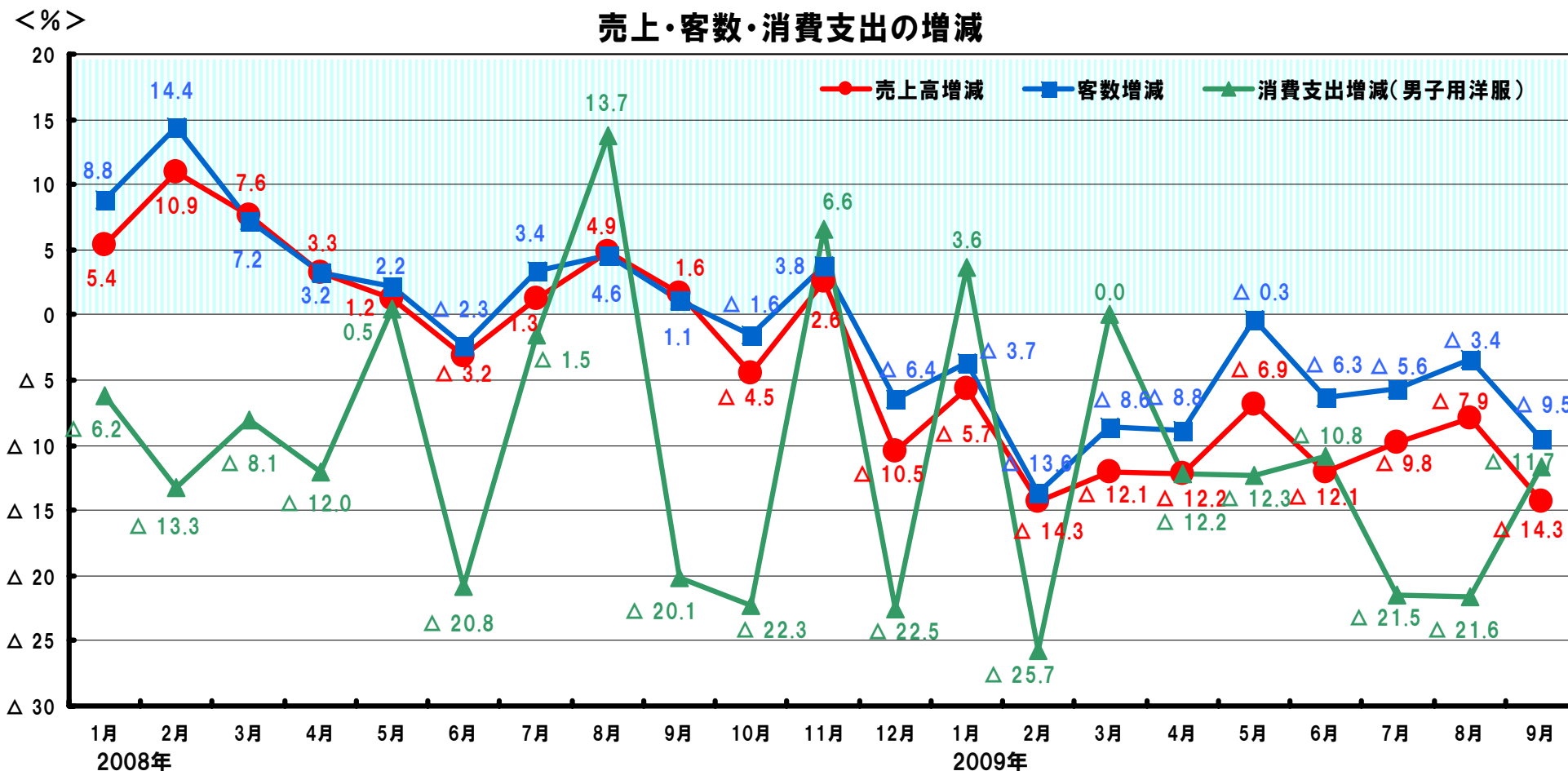
既存店月間前年伸び率と今期の要因

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	要 因
売 上	△12.2%	△6.9%	△12.1%	△9.8%	△7.9%	△14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・景気低迷による雇用情勢の悪化で、来店客数、客単価の減少。 ・消費者の低価格志向がさらに強まる。 ・9月はシルバーウィークの影響で売上、客数が減少。
客 数	△8.8%	△0.3%	△6.3%	△5.6%	△3.4%	△9.5%	
客 単 価	△3.7%	△6.6%	△6.2%	△4.4%	△4.7%	△5.3%	
ファミリー衣料	△8.6%	△4.3%	△9.6%	△11.1%	△8.9%	△15.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業、製造業等の業績不振による作業服の買い替え需要の低下。 ・衣料品の買い控え。 ・天候不順による夏物商品の販売が低迷。
カジュアルウエア	△11.0%	△9.8%	△13.3%	△20.2%	△10.5%	△17.9%	
ワーキングウエア	△11.8%	△10.2%	△12.3%	△14.9%	△9.8%	△14.8%	
履 物	△8.5%	△3.1%	△8.6%	△0.4%	△8.9%	△12.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨日が少なく長靴、合羽の販売が低迷。 ・就労日の減少により、軍手、革手袋等の作業消耗品の販売が低迷。
作業用品	△16.9%	△7.6%	△15.7%	△4.6%	△9.1%	△18.0%	
そ の 他	△12.0%	+5.7%	△7.5%	△10.4%	+15.0%	△2.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てマスクの販売好調。

販売状況3



既存店月次推移と衣料品消費支出の推移



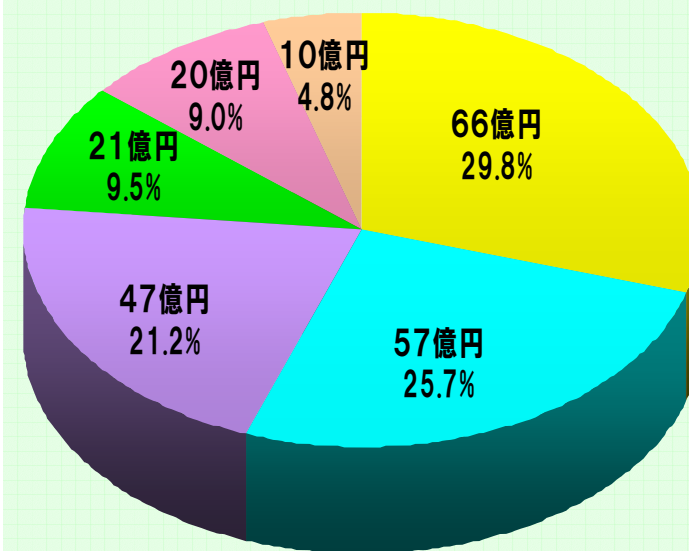
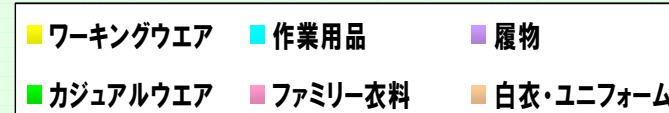
※消費支出の増減は、総務省統計局発表「家計調査報告(二人以上の世帯)」の男子用洋服の1世帯当たり1ヶ月間の支出の対前年同月実質増減率を基に作成しております。

商品別売上構成

■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較 (%)

		2009年3月期 第2四半期 累計期間	2010年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
衣料	ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロンなど	8.9	9.0	+0.1
	カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾンなど	9.8	9.5	△0.3
	ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蓑衣料など	30.5	29.8	△0.7
用品	履物 安全靴・地下足袋・長靴・布靴・ 安全スニーカーなど	20.4	21.2	+0.8
	作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメットなど	26.2	25.7	△0.5
その他	白衣・ユニフォーム 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・介護衣料など	4.2	4.8	+0.6
合計		100.0	100.0	

チェーン全店売上高223億円



※金額は表示単位未満を切り捨てております。

第2四半期決算の概要

 **2010年3月期決算の見通し**

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の見通し



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期		
	金額	前期比	修正計画	前期比	期初計画
チェーン全店売上高	49,469	△0.8	47,555	△3.9	49,500
(既存店売上高)	—	△3.2	—	△6.7	△3.0
営業総収入	34,811	+1.5	33,442	△3.9	35,751
販売費及び一般管理費	7,091	+2.8	7,129	+0.5	7,226
営業利益	3,896	△11.5	3,455	△11.3	3,967
経常利益	4,826	△8.9	4,300	△10.9	4,850
当期純利益	2,710	△8.5	2,429	△10.4	2,729
1株当たり当期純利益	132円58銭		119円07銭		133円77銭
1株当たり配当金	37円00銭		37円00銭		37円00銭

2010年3月期決算の見通しポイント

売上計画

- チェーン全店売上高 期初計画495億円→475億円(前期比 $\Delta 3.9\%$)へ修正
- 既存店売上高前期比 $\Delta 6.7\%$ を想定
 - 〃 客数前期比 $\Delta 3.5\% \sim \Delta 2.5\%$ を想定
 - 〃 客単価前期比 $\Delta 4.5\% \sim \Delta 3.5\%$ を想定
- 下半期チェーン全店売上高前年同期比 $\Delta 0.0\%$ 既存店前年同期比 $\Delta 2.9\%$ を想定
(2009年3月期下半期実績 チェーン全店 $\Delta 4.5\%$ 既存店 $\Delta 7.2\%$)

利益計画

- 商品調達コストの見直しで値入率の向上 \Rightarrow 加盟店からの収入を高める
(FC店舗荒利率34.8% 前期比0.2ポイント向上)
- テレビ・ラジオCMの見直しで前期より約1億2百万円、折込チラシの見直しで前期より約68百万円、合計で約1億70百万円の広告宣伝費を削減
- 店舗の売上減少で、対象となる加盟店向け顕彰金額が約94百万円減少

ワークマンシェアの拡大

- 山口県への初出店で1都2府33県にエリア拡大
- 低価格政策(エブリデー・ロー・プライス)による競合店との差別化

第2四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第2四半期決算の詳細

出店戦略

2010年3月期計画

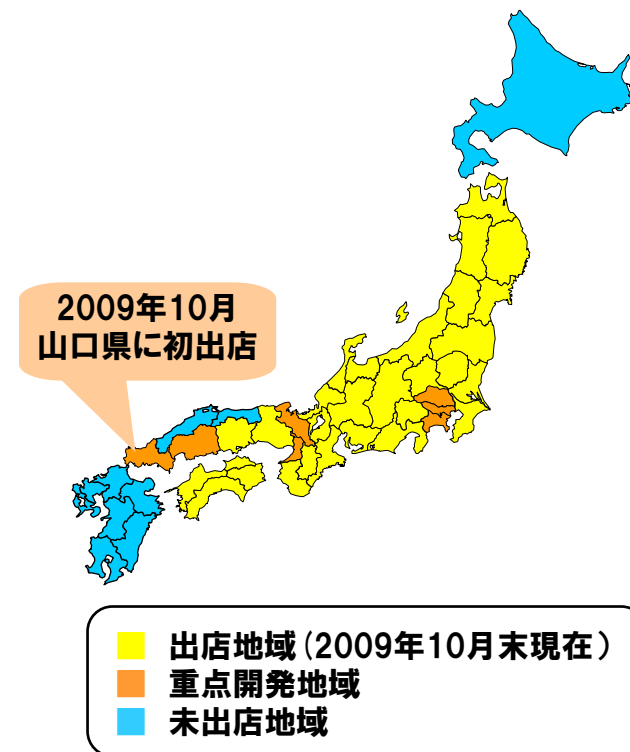
- 開店 30店舗、閉店 7店舗で、651店舗(前期末比 +23店舗)
 今期の重点開発地区……東京都、神奈川県、埼玉県、大阪府、京都府、広島県、山口県
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 6店舗

■出店状況

<店舗数>

地 域	4月～10月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期見通し
東 北	1	—	1
関 東	7	2	9
中 部	3	4	7
近 畿	2	7	8
中 国	4	1	5
合 計	17	14	30

※通期見通しの地域毎の内訳は、2009年10月末現在の出店実績と契約状況を踏まえて見通しを立てております。



■スクラップ&ビルド(既存店の活性化)

4月～10月で6店舗実施(期初計画+1店舗)

フランチャイズ(FC)化の推進

2010年3月期計画

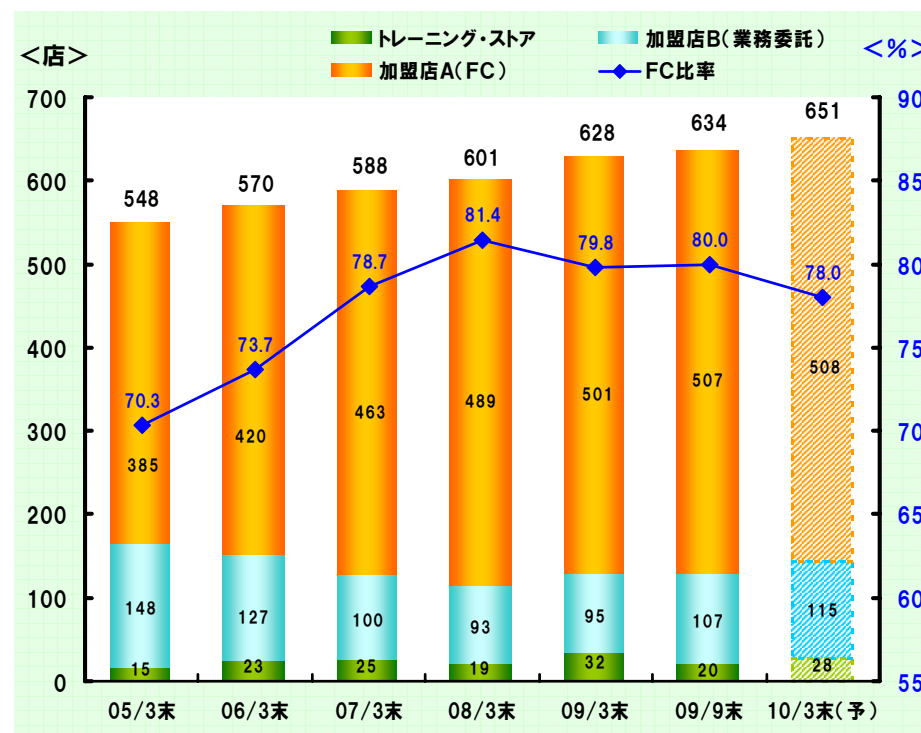
- フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)508店舗(前期末比 +7店舗)
- 直営店(加盟店B契約店舗、トレーニング・ストア)143店舗(前期末比 +16店舗)

- 既存店売上の減少で、加盟店B契約から加盟店A契約への切替鈍化
 期末加盟店A契約店舗508店舗(期初計画比 Δ 12店舗)

FC化状況

・4月～9月の店舗運営形態の推移

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A契約 (内新規加盟店数)	+14 (+5)	Δ 8	+6
加盟店B契約 (内新規加盟店数)	+25 (+23)	Δ 13	+12
トレーニング・ストア	+13	Δ 25	Δ 12



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

2010年3月期計画

■チェーン全店売上高に占める構成比 38.0%(前期実績34.3%、前期比3.7ポイント増)

■EDLP販売状況

	2009年3月期 第2四半期累計期間		2010年3月期 第2四半期累計期間			2010年3月期 通期計画	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
超低価格	4,043	16.7	3,846	17.3	△4.9	9,320	19.6
ミドルゾーン	4,067	16.8	4,001	17.9	△1.6	8,750	18.4
EDLP合計	8,110	33.5	7,847	35.2	△3.2	18,070	38.0

■低価格宣言

- ・テレビCM、チラシと連動してEDLP商品の低価格をアピール
- ・販促媒体(POP等)を使い売場での商品提案

■売場改装の実施

- ・販売が堅調な作業手袋や安全スニーカーを中心に売場の拡大

今期開発の新商品

2010年3月期計画

■他店には無い魅力あるEDLP商品210アイテムを開発(前期実績277アイテム)

■EDLP商品一例

すべり止め作業手袋 匠の手シリーズ
(ウレタン・ゴム・ニトリル)

98円

従来商品売価
228円~298円



デニムエプロン
299円

従来商品売価
409円



裏起毛ハイネックシャツ
499円

従来商品売価
680円



すべり止め作業手袋
パワーグラブZERO

198円

従来商品売価
298円



衛生白長靴
890円

従来商品売価
1,250円



軽量防寒ジャンパー
(鳶龍)

1,580円

従来商品売価
3,900円



第2四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第2四半期末	増減	増減要因
流動資産	19,093	18,997	△96	
現金及び預金	9,731	9,780	49	
加盟店貸勘定	4,678	4,432	△245	対象店舗が10店舗減少(468店舗→458店舗) 1店舗当たりの貸付金額が約32万円減少
商品	3,840	3,833	△6	流通センター在庫が54百万円減少 店舗在庫は秋冬物商品の投入で48百万円増加
固定資産	13,063	13,146	82	
有形固定資産	6,884	6,864	△20	
建物(純額)	2,647	2,630	△17	出店・閉店状況 出店13店舗、S&B5店舗、閉店7店舗 出店形態(S&B含む) 建物リース13店舗、オーナー兼加盟店契約1店舗、土地リース4店舗
土地	2,966	2,966	—	
無形固定資産	83	75	△8	ソフトウェア償却費を計上
投資その他の資産	6,094	6,205	111	
差入保証金	5,123	5,217	93	建物リース契約での地主への建設協力金の差し入れ
資産合計	32,157	32,143	△13	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第2四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	6,149	5,867	△281	
買掛金・加盟店買掛金	2,431	2,449	17	
未払法人税等	989	834	△154	
その他	1,318	1,215	△103	
未払金	914	744	△169	
固定負債	1,237	1,309	72	
負債合計	7,386	7,177	△209	
株主資本	24,769	24,965	195	
純資産合計	24,770	24,966	195	自己資本比率 77.7%(0.7ポイント向上)
負債純資産合計	32,157	32,143	△13	

キャッシュ・フロー計算書

<単位:百万円>

	2009年3月期 第2四半期累計期間	2010年3月期 第2四半期累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,073	1,202	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497	△384	113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△765	△769	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△189	49	238
現金及び現金同等物の期首残高	9,141	9,731	589
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,952	9,780	828

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・法人税等の支払額が減少した事により2億74百万円増加
- ・加盟店貸勘定が減少した事により2億20百万円増加
- ・棚卸資産が減少した事により2億8百万円増加
- ・税引前四半期純利益が5億28百万円減少

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・差入保証金の支出が1億5百万円減少

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第2四半期累計期間		2010年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	4,209		3,683		△12.5	
加盟店からの収入	2,733		2,380		△12.9	加盟店売上高 当第2四半期 191億79百万円、前第2四半期 210億56百万円 8.9%減少(1店舗平均12.0%減少) 景気悪化による需要の減少と衣料品の買い控えから販売不振
その他の営業収入	1,476		1,302		△11.8	チェーン全店仕入高前年同期比10.9%減少 業務受託収入12.5%減少
売上高	12,957		11,905		△8.1	
直営店売上高	3,156	(100.0)	3,129	(100.0)	△0.9	直営店期中平均店舗数123店舗(10店舗増加)
加盟店向け商品供給売上高	9,800		8,776		△10.5	FC店期中平均店舗数509店舗(17店舗増加)
営業総収入	17,166	100.0	15,589	100.0	△9.2	
直営店売上原価	1,982	11.5	1,985	12.7	0.2	
加盟店向け商品供給売上原価	9,800	57.1	8,776	56.3	△10.5	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	11,783	68.6	10,762	69.0	△8.7	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第2四半期累計期間		2010年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,174)	(37.2)	(1,143)	(36.6)	△2.6	仕入れ割戻しの減少で売上総利益率 0.6ポイント悪化
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	5,383	31.4	4,826	31.0	△10.3	
販売費及び一般管理費	3,522	20.5	3,462	22.2	△1.7	増減要因 販売費 約8,000万円減少 (ステップアップ賞顕彰金 約6,600万円減少) 流通センター運営費用 約2,700万円減少 一般管理費 約5,600万円減少 人件費 約3,600万円増加 直営店期中平均10店舗増 約6,800万円増加
営業利益	1,861	10.8	1,364	8.8	△26.7	
営業外収益	463	2.7	434	2.8	△6.1	
営業外費用	7	0.0	14	0.1	+82.3	リース会計適用で支払利息が約850万円増加
経常利益	2,316	13.5	1,785	11.5	△22.9	
特別利益	2	0.0	1	0.0	△61.2	
特別損失	17	0.1	12	0.1	△28.6	固定資産除却損 閉店7店舗、S&B5店舗で約900万円 減損損失 営業不振店舗1店舗、閉店店舗が2店舗で約340万円
四半期純利益	1,236	7.2	950	6.1	△23.1	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン
銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>